

## 出生体重 1500 g 未満で当施設に入院された患者様およびご家族の方へ

### 低出生体重児における母乳栄養と精神運動発達との関連に関する 後方視的研究のお願い

現在当院では、最新かつ最良の医療を提供できるように常に努力しており現在、科学研究費の助成を受け（課題番号15K11716）「低出生体重児における母乳栄養と精神運動発達との関連に関する縦断研究」を後方視的に実施しております。後方視的研究とは、過去に入院されたお子さんの診療情報などのデータを用いて調査を行う研究です。

過去の診療情報を研究に用いることを、ご家族や代理人の方に改めてご説明し、ご同意を得る事は現実的には困難です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。したがって、ホームページ、院内掲示で研究内容を公開することで、同意をいただくことに代えさせていただいております。

本研究では、お子さんの個人情報の匿名化を行っており、ご氏名やご住所など個人を特定できる情報は用いませぬ。も得られた情報は個人が特定されないようにデータベース化したうえで、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は、医療の発展のためにまとめ発表いたします。また本研究は関東甲信越地方にある総合周産期母子医療センターの2施設で実施しております。お子さんが研究の対象に該当され、研究への情報提供に同意されないなどのご意志やご意見等がございましたら、ご遠慮なく当科までお問い合わせください。

目的：本研究は、早期産児の母親の母乳は正期産児の母親の母乳と比べて、中枢神経や視神経の発達を促進する物質、感染防御因子、脂肪分が多く含まれているという科学根拠に基づき、①出生体重1500g未満の低出生体重児の母乳栄養と神経運動発達との関連および、②母乳育児を継続するためのケアの科学的根拠を縦断的に明らかにすることを目的としています。

調査期間：2015年5月～2016年1月まで

対象となる方：2010年～2012年に生まれた1500g未満のお子様

方法：出生体重1500g未満で、特別に障害がない方のカルテ情報に基づいた後方視調査です。特別に何かしていただくことはありません。

#### 【問い合わせ先】

施設研究代表者氏名：新生児科 丸山憲一  
〒377-8577 群馬県渋川市北橘町下箱田 779 番地  
電話：0279-52-3551 FAX：0279-52-2045（代表）  
E-mail: maruken@gcmc.pref.gunma.jp